

日立港区



日立港区

- 1957(昭和32)年 5月 第1埠頭着工
- 1959(昭和34)年 10月 第1船入港
- 1960(昭和35)年 7月 第1埠頭3,000t岸壁完成
- 1962(昭和37)年 12月 港湾運送事業法に基づく指定港になる
- 1965(昭和40)年 第2埠頭着工
- 1967(昭和42)年 6月 重要港湾に指定される
- 関税法に基づく開港になる
- 1967(昭和42)年 11月 第2埠頭10,000t岸壁完成
- 1973(昭和48)年 10月 検疫法に基づく指定港になる
- 1976(昭和51)年 11月 第5埠頭着工
- 1981(昭和56)年 4月 第2埠頭供用開始
- 11月 第5埠頭供用開始
- 1984(昭和59)年 2月 九州定期コンテナ航路開設(2006年6月航路廃止)
- 1985(昭和60)年 5月 四国定期コンテナ航路開設(2007年4月常陸那珂港へシフト)
- 1986(昭和61)年 2月 東南アジア定期コンテナ航路開設(2005年5月航路廃止)
- 1989(平成元年) 6月 第4埠頭 -12m岸壁供用開始
- 1990(平成2)年 7月 日立港物流センター完成
- 1991(平成3)年 12月 第4埠頭 コンテナターミナル供用開始
- 1992(平成4)年 1月 メルセデス・ベンツ日本 日立市に新車整備センターを稼働
- 7月 物流センターに冷凍倉庫が完成
- 10月 第2埠頭に県営3号上屋(燻蒸倉庫)が完成
- 1993(平成5)年 7月 釧路港との定期RORO航路開設
- 1997(平成9)年 6月 釧路とのRORO船サービスデイリー化
- 1998(平成10)年 4月 第5埠頭 -12m岸壁供用開始
- 1999(平成11)年 3月 港湾計画改訂
- 2006(平成18)年 6月 北九州定期RORO航路開設(2011年2月常陸那珂港区へシフト)

常陸那珂港区



- 2009(平成21)年 3月 港湾計画改訂
- 2010(平成22)年 4月 メルセデス・ベンツ日本の新車整備センターが日立市に統合
- 5月 日産自動車による北米向け乗用車の輸出が開始

常陸那珂港区

- 1983(昭和58)年 3月 重要港湾に指定される
- 6月 港湾計画策定
- 1989(平成元年) 7月 作業基地着工
- 1993(平成5)年 5月 北ふ頭地区着工
- 1998(平成10)年 12月 北ふ頭地区内貿バス供用開始
- 第1船入港
- 2000(平成12)年 4月 北ふ頭地区外貿バス供用開始
- 極東ロシア定期航路開設
- 8月 韓国定期コンテナ航路開設
- 11月 北米定期RORO航路開設
- 12月 欧州定期RORO航路開設
- 2001(平成13)年 2月 中央ふ頭地区本格着工
- 4月 関税法に基づく開港となる
- 7月 苫小牧港との定期RORO航路開設
- 2002(平成14)年 1月 韓国定期コンテナ航路の中国(華中)延伸
- 2月 中国(華南)定期コンテナ航路開設(2004年2月航路休止→廃止)
- 2003(平成15)年 12月 常陸那珂火力発電所本格稼働
- 2004(平成16)年 2月 北米定期コンテナ航路開設(現在月1便化)
- 2006(平成18)年 3月 中央ふ頭-7.5m岸壁(耐震)供用開始
- 6月 北米定期コンテナ航路月2便化
- 2007(平成19)年 4月 四国定期コンテナ航路が日立港からシフト(2012年10月航路休止→廃止)
- 2008(平成20)年 2月 定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設

大洗港区

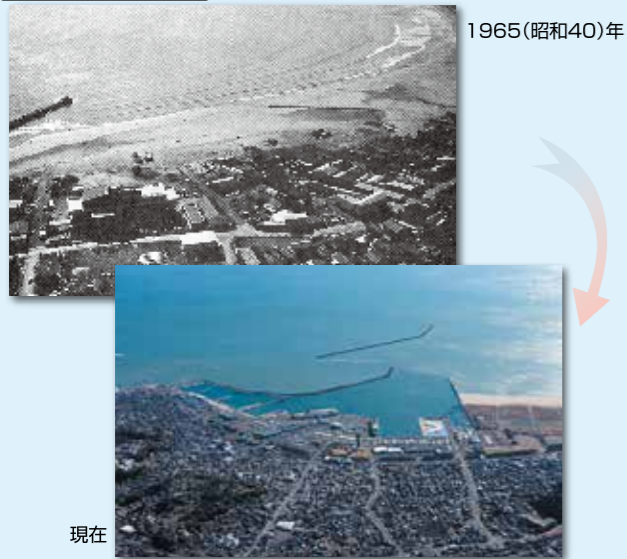
- 1961(昭和36)年 11月 大洗港起工式
- 1970(昭和45)年 6月 第1船入港
- 1971(昭和46)年 11月 第1埠頭地区埋立竣工
- 1978(昭和53)年 11月 第2埠頭地区埋立竣工
- 1979(昭和54)年 5月 重要港湾に指定される
- 1985(昭和60)年 2月 大洗港フェリーターミナルビル完成
- 3月 大洗港~苫小牧港、室蘭港にカーフェリー就航(週6便)
- 1986(昭和61)年 3月 第3埠頭地区埋立竣工
- 1988(昭和63)年 4月 県立大洗海浜公園供用開始
- 1992(平成4)年 7月 大洗マリーナ供用開始
- 1993(平成5)年 11月 室蘭航路(東日本フェリー)増便(2002年5月廃止)
- 12月 苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)増便
- 1994(平成6)年 10月 新旅客ターミナルビル完成
- 11月 第4埠頭地区埋立竣工
- 1995(平成7)年 1月 第4埠頭-8m岸壁供用開始
- 1997(平成9)年 9月 東京~大洗~苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)開設(1999年4月廃止)
- 1999(平成11)年 4月 大洗~苫小牧航路(ブルーハイウェイライン)増便、1日2便体制へ
- 2001(平成13)年 7月 苫小牧航路運航会社がブルーハイウェイラインから商船三井フェリーへ
- 体験型科学館「大洗わくわく科学館」がオープン
- 2002(平成14)年 3月 「アクアワールド茨城県大洗水族館」がリニューアルオープン
- 6月 苫小牧航路が商船三井フェリーと東日本フェリーの共同配船へ
- 2005(平成17)年 6月 にっぽん丸 初入港
- 2006(平成18)年 2月 「日光・大洗クルーズ船誘致協議会」設立
- 3月 「大洗リゾートアウトレット」がオープン
- 2007(平成19)年 1月 苫小牧航路運航会社が商船三井フェリーへ一体化

2008(平成20)年 12月 25日 県北3港統合により茨城港誕生

- 2009(平成21)年 3月 港湾計画改訂
- 8月 中央ふ頭-9m岸壁供用開始
- 10月 苫小牧定期RORO航路 1日2便化
- 10月 豪州定期在来航路開設
- 2010(平成22)年 10月 極東ロシア定期RORO航路開設
- 2011(平成23)年 2月 北九州定期RORO航路が日立港区からシフト
- アフリカ定期RORO航路開設
- 南アメリカ定期RORO航路開設

- 2009(平成21)年 3月 港湾計画改訂
- 7月 「大洗リゾートアウトレット」が増床オープン
- 9月 「かねふく めんたいパーク」がオープン
- 11月 ばしふいっくびいなす 初入港
- 2010(平成22)年 7月 日光地区観光協会連合会と振興協会が、クルーズ船の誘致を目指す協議会設立

大洗港区



- 2011(平成23)年 12月 港湾計画一部変更
- 2012(平成24)年 7月 日立LNG基地着工
- 12月 第3ふ頭地区着工
- 2014(平成26)年 7月 西欧定期RORO航路開設
- 2015(平成27)年 3月 港湾計画一部変更
- 2016(平成28)年 3月 日立LNG基地稼働
- 2018(平成30)年 3月 第3ふ頭-12m岸壁供用開始
- 2019(平成31/令和元)年 4月 5月 釧路との定期RORO船2隻が大型化
- 2021(令和3)年 3月 日立LNG基地2号機稼働

2011(平成23)年3月11日 東日本大震災発生

- 2011(平成23)年 6月 東南アジア定期RORO航路開設
- 2012(平成24)年 3月 豪州定期RORO航路開設
- 10月 中国・韓国・東南アジア定期コンテナ航路開設(2015年8月航路休止→廃止)
- 2013(平成25)年 10月 東・南アフリカ定期RORO航路開設
- 12月 常陸那珂火力発電所2号機本格稼働
- 2014(平成26)年 11月 西ヨーロッパ定期RORO航路開設
- 2016(平成28)年 4月 定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設
- 7月 中央ふ頭-12m岸壁(耐震)供用開始
- 9月 アフリカ定期RORO航路開設
- 11月 飛鳥II 初入港
- SUBARUによる北米向け乗用車の輸出が開始
- 2017(平成29)年 4月 韓国・中国定期コンテナ航路開設
- 2017(平成29)年 12月 定期コンテナ(国際フィーダー)航路増便
- 2018(平成30)年 10月 アフリカ定期RORO航路開設
- 2018(平成30)年 12月 港湾計画一部変更
- 2019(平成31)年 4月 茨城県初の外国クルーズ船入港
- 2019(令和元)年 10月 韓国・中国定期コンテナ航路増便
- 2019(令和元)年 11月 韓国定期コンテナ航路開設
- 2021(令和3)年 1月 常陸那珂共同火力発電所1号機本格稼働
- 2021(令和3)年 2月 中央ふ頭-12m岸壁(270m)供用開始
- 2021(令和3)年 7月 定期コンテナ(国際フィーダー)航路開設
- 2023(令和5)年 2月 中央ふ頭-12m岸壁(300m)全面供用開始
- 2023(令和5)年 12月 港湾計画一部変更
- 2024(令和6)年 1月 中国定期コンテナ航路開設

- 2012(平成24)年 11月 全国クルーズ活性化会議設立 入会
- 2013(平成25)年 4月 大洗マリーナリニューアルオープン
- 2017(平成29)年 7月 大洗マリーナ新クレーン(40t吊)供用開始
- 11月 大洗シーサイドステーションオープン
- 2023(令和5)年 6月 大洗マリーナ民間事業者によるリニューアルオープン
- 2023(令和5)年 10月 大洗港区初の外国クルーズ船入港